

Ⅰ 日常の学習状況・課題について

- (1) クラスによる差はあるものの、全体として話し合い活動に積極的である。しかし、発言をするのは一部の生徒に偏る傾向にあるため改善が必要である。
- (2) 漢字等の知識問題の定着が不十分である。小学校の漢字の定着から見直していく必要がある。
- (3) 基本的な解答の方法や作文のルールなどが理解できていない。書く活動も積極的に実施し、改善していきたい。

2 改善の計画

- (1) 生徒一人一人に話し合い活動の際に役割を与え、全員が主体的に活動に取り組めるよう配慮する。また、机間指導の際に、発言ができていない生徒に積極的にはたらきかけ多くの生徒が活動に参加できるよう手助けをする。
- (2) 「級別漢字レッスン」を使用し、小学校からの漢字(7級から)を毎授業の導入で復習させる。
- (3) 書く活動では、できる生徒とできない生徒とで差があるため、互いに内容を確認させたり、教え合ったりする活動をする。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) グループワークの際に一人一人に役割を与えることにより、集団の中での自己有用感を高める。
- (2) ディベートや話し合いの授業において、他者の意見を尊重することを意識させることにより自分と他者と社会との関わりを意識させる。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 定期テストで理解度をはかる。